

ひょうご 森林ボランティア 第2号



兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

森林ボランティア活動への思い

協議会副会長 福田 正

皆さんは森林ボランティア活動に入られるにあたり、どのような動機でスタートしたのでしょうか？

動機や方法は夫々異なりますが「自分の意思で、積極的に参加」されたと思います。

そこに行き着くまでには戸惑いがあったかも知れませんが“自分が出発点”であることを忘れずに！

何かあれば「原点に戻れ、思い出せ！」軌道修正の早道で、原点での熱い思いは力強いエネルギーです。



そして活動を通じて自己研鑽の機会も増え、今まで経験しなかった世界にも出会うことが出来、多くの仲間との出会いは素晴らしい宝物となります。

県の長期ビジョンの社会像の一つに「森・川・海」があり、森は多くの『恵みの源』として生物多様性に結びつき『全ての生物の財産』である事を認識し、その総元の森づくり・維持管理活動には誇りを持って取り組んで欲しいものです。

環境保全活動は、皆様もお気づきの通り地球全体の大きな問題として認識されています。

地球上で生息する数百万種の生物の頂点に立つ人間は文化生活を追い求め産業革命以降、高度経済成長時代に大切な地球を破壊してきました。

『人はその責任を認識し修復に努力・協力が必要』森の保全と回帰・再生活動は多くの人に関わりもう一度、自然に手を差し延べお返しし、後世に引き継いでいかなければなりません。

私は、魚釣(全日本サーフキャストイング連盟)から森づくりに入りましたが、20年ほど前頃から釣果の減少や魚種の変化に“海の荒廃は陸にある”ことを体感し森

づくりを、そして『多くの釣仲間と一緒にやろうよ』と呼掛け全国組織の展開へと力を入れてきました。

とは言うものの釣仲間を山へ誘い込むのには困難を極め、長年続けてきた海岸清掃活動に加え森との関係を理解し実行動には6年の歳月を要しました。

現在は全日本サーフキャストイング連盟の皆さん、JF兵庫漁連の海に係わる皆さんも森林資源の大切さを自覚し保護活動、森づくり活動を一緒にしています。

この星で生活する人々は、森の持つ公益的機能を十分に理解し皆がその受益者であることを認識し行動を起こさなければなりません。

市民の森づくり活動は、人海戦術の要素が大きくその意味でも森へ入る仲間が増える事を期待し人材育成事業



釣り仲間の植樹活動

にも力を入れた活動展開・訴求活動をしています。

私達が出来る事は、色々な活動で得た知識・技術・技能を自分1人で抱えず、より多くの人へ伝えていく事の大切さを再認識し展開する事です。

自然の中では手をかければ必ずそのお返しがあり四季折々の美しい景観に接する機会を与えてくれ、感性を磨き健康という贈り物を頂く事も出来ます。

社会的な価値や生きがいを見つける事ができ、社会貢献の達成感や精神的な充実感を得ると言う非常に大きなご褒美を頂く事も出来ます。

これがボランティアの良いところだと思います。皆さんのご協力に期待します。

平成24年度ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動賞の説明

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成等を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくり活動への参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進する。これは平成23年9月に施行されました。

でるくいわーくす（兵庫県神崎郡福崎町大貫）

行政に要望するだけでなく、自分たちの力と知恵と資金で、できることから町づくりを進めようと決議した。平成11年から自治会所属地として大きな面積を占める里山整備に着手。

最初は福崎町文化財相山古墳のある里山(1ha)を整備し、春は梅・桜、秋は紅葉の楽しめる古墳公園づくりに取り組み、3年の歳月を要したが、すべて自前で完成させた。

この経験をもとに樹林・竹林整備に自治会と協同で取り組み、活動的で絆を大切にする地域づくりに貢献している。



相山古墳の里山整備状況

みはらし会（たつの市御津町釜屋180番地1）

この度、24年度「ひょうご森づくり活動賞」を賜りありがとうございます。

私たちは、「人と森の健康づくりができる里山林」をテーマに間伐や植樹活動に取り組み10年目を迎えました。

御津の豊かな里山林の中で、緑の少年団「みつ咲楽クラブ」とシイタケの植菌、竹炭作り体験など交流活動を行い、子どもたちと共にふるさとの森づくり活動を続けてきました。

今後も豊かな自然を活かしながら人と森が共生できる環境づくりを続けていきたいと思っています。



伐採した木を利用しシイタケ等の植菌作業

平成24年度ふれあいの森林づくり入賞 国土緑化推進機構 理事長賞

ナシオン創造の森育成会（西宮市東山台）

この受賞を大変光栄に思っていますと共に、関係各位のご指導に感謝致しております。今後も育成会の特徴である生態学を基本にした生物多様性の豊かな里山づくりとその普及に邁進して参ります。今後ともよろしく、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



セミナー「万葉集と植物」風景

平成24年度全国育樹活動コンクール入賞 国土緑化推進機構 理事長賞

丹波おおやま里山オーナー会（篠山市大山新奥坪）

里山林整備を始め早や10年、現在は20余名で活動中です。

一昨年のふれあい森づくり入賞に引き続く受賞はメンバー一同の日常活動のたまものと喜んでいきます。今後とも地元、他の団体との共同作業など含め更なる活動に邁進します。



総繪のパイオトイレづくり

森林ボランティアリーダー養成講座 開催

兵庫県豊かな森づくり課

県では、森林を県民共有の財産としてとらえ、「県民総参加の森づくり」を進めてきました。その第2期対策として、森林ボランティア団体のさらなる活性化を図るため、次代のリーダーを養成する講座を今年度から新たに開講します。

講義、実技・先進地調査、グループ討議を行うとともに、研修生相互の団体交流も深めます。

宿泊研修2回を含む5日間の研修のあと、習得した技能、知識を活用して自らが指導する実習研

修を行います。

初回の1月19日(土)、20日(日)(予定)には、(公財)キープ協会シニアアドバイザーの川嶋直先生をお迎えして、チームリーダーの役割について学びます。

また、動力を安全に使う実技研修や先進地視察研修も計画していますので、奮ってご参加ください。 詳細については、

豊かな森づくり課森づくり支援係まで。

放置竹林の解消を目指して「あわじ島竹取物語」プロジェクトの取組

兵庫県淡路県民局

近年、淡路島でも西日本各地の里山と同様に放置竹林の拡大が問題となっており、里山の生物多様性や景観に影響を与え、野生動物被害の温床となるなどの課題が指摘されている。

放置竹林の解消を図るため、竹資源量調査や整備の手引き書を作成するとともに、フォーラムや検討会を開催してきた。

竹林整備をより一層、持続的に実施するためには、整備に伴って発生する竹材の有効利用が必要あるとの観点から、竹資源の利活用を総合的に進める取組「あわじ島竹取物語」プロジェクトを立ち上げ、竹チップボイラーによる燃料利用や農業

資材(竹炭、竹粉)、土木資材(吹付基材、暗渠)等の新たな用途開発、効率的な搬出手法の検討等を行い、竹林整備の推進と地域資源の有効利用を目指して取り組んでいる。

プロジェクトの推進にあたっては、島内の森林ボランティア団体と協働して取り組んでおり、モデル竹林設定、竹材を利用した粗朶暗渠や案内看板の試作を実施している。

今後は、簡易搬出機器を使った搬出モデル林の設定や、プロジェクトの推進組織へサポーターとして参画することを通じて、この取組が全島に拡がることを期待されている。



竹林整備での切り出し状況



暗渠(土木資材)用に手入れされた竹材

事務局

兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県農政環境部環境創造局 豊かな森づくり課 森づくり支援係 内

Tel 078-362-3144 Fax 078-362-3954

会報に関する問い合わせ・・・桑田 結 (Tel 090-3166-9785)